

| 会社名 | 業種 | 社員数 | 取組の背景・目的、取組の内容、取組の効果 |
|------------|-------|---------|--|
| 住友生命保険相互会社 | 生命保険業 | 46,084名 | <p>(取組の背景・目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○お客さまニーズや職員の価値観の多様化等を踏まえ、従来以上に「お客さま本位・マーケット目線の仕事へ転換・集中」することや、当社で働く職員からみて「健康でいきいきと働く職場」を実現することを目指す。 ○また、職員の生産性・創造性を高めるため、「時間」や「場所」にとらわれない働き方を可能とする等、柔軟な勤務制度を構築する。 <p>(取組の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2017年よりトップダウンによる既存業務の削減・効率化に取組み、お客さま本位・マーケット目線の業務へのシフトを図ってきました。 ○2018年より在宅勤務制度を導入。テレワークの浸透に向け、役員・管理職層が自らテレワークを体験する「テレワークチャレンジ」を実施し、該当層の理解・浸透を図りました。 ○2019年にはフレックスタイム制を導入。2021/4月からはその対象者を管理職やパート職員を除く全職員に拡大し、柔軟な勤務が可能な制度整備を行いました。 ○テレワークの浸透にあわせ、職員の生産性を評価する制度(*1)を導入するとともに、2021年度からは1ON1ミーティング(*2)を実施し人事評価の納得感向上を図っています。 <p>(*1)人事評価において、仕事の成果に対して投入した労働時間を評価の視点に加える制度 (*2)上司と部下が定期的に1対1のミーティングを行い、仕事の進め方や状況等について共有する取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍を契機に、各部署がテレワークとオフィス出社の使い分け計画を立て、実行・振返りを行うことで、より生産性の高い働き方を研究しています。 <p>(取組の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な取組みやコロナ禍を通じ、テレワークを実施する環境構築・風土醸成が進みました。 ○テレワークを前提として、ペーパーレス化やWEB会議等新たな働き方が浸透し、対面以外のメールやチャット等によるオープンなコミュニケーションが活性化しました。 ○業務の効率化や職員のライフの充実が図られました。 |